

民間提案型普及・実証事業
フィリピン国 ミルクフィッシュ養殖事業における太陽光発電利用の普及・実証事業

企業・サイト概要

- 提案企業: 株式会社パワーバンクシステム
- 提案企業所在地: 熊本県八代市
- サイト: フィリピン国パンガシナン州 ダグバン市・スアル市
- 相手国実施機関: 農務省漁業水産資源局
- 事業実施機関: 2013年9月～2015年3月

●●● フィリピン国の開発課題 ●●●

- ミルクフィッシュ養殖産業の育成
稚魚の高い致死率で生産が頭打ちとなっているが、将来的な輸出産業としての増産が求められている。
- 養殖場の水質改善
過剰給餌による水質の悪化が稚魚の高い致死率の一因となっており、増産エアレーション等による水質の改善が求められる。
- 養殖場における電源の確保
上記水質改善のためにエアレーションを実施するには電源が必要であるが、フィリピンでは電気代が高額である他、洋上の養殖場まで電源を引くことが困難であり、洋上で独立型電源が必要である。

合致

●●● 提案企業の技術・製品 ●●●

- 浮島システム(耐塩性太陽光パネルとマイクロバブル発生装置を組み合わせた洋上エアレーションシステム)
- ・耐塩性太陽光パネル(提案企業が開発)
 - 重塩害対応素材のため洋上や沿岸でも錆びる心配がない。
 - 薄く、軽量であるため、設置場所を選ばない(洋上であればフロートの上に乗せて、沿岸部であれば陸上に設置して、エアレーションの電源として使用することが可能)。
- ・マイクロバブル発生装置(熊本大学が開発)
 - 超微細気泡を発生させることができ、水中への酸素供給や攪拌が可能。

提案企業の準備状況

- 平成24年度外務省委託費による「途上国政府への普及事業」において、浮島システムが稚魚の致死率低下に有効であることを確認。
- 同事業を通じて、より説得力のあるデータに基づき普及を図るため、エアレーションの有無による稚魚の致死率の比較実験を行う必要性を確認。

民間提案型普及・実証事業の内容 (JICA事業)

- 海水域・汽水域それぞれにおいて、エアレーションの有無による比較実験を3回ずつ実施。
- カウンターパート機関職員及び養殖事業者を対象に、養殖技術及び浮島システムの活用方法に関する研修を行う。
- 上記活動と並行して、政府機関や養殖事業者等を対象にプロモーション活動を実施。

ビジネス展開

- 現地企業と販売代理店契約を結び、システムを販売しながら、現地生産の可能性を探る。

